

ゴ
マーク

キャ
ッチ
フレーズ



まっすぐかのや

・「鹿屋市」そのものをブランド化し、「地域」と「モノ」の両方の知名度や評価を高め、地域が自立し発展するための、鹿屋市のロゴマーク・キャッチフレーズ「まっすぐかのや」の周知・PR

・かのやブランドの情報発信の拠点となる「道の駅」整備の基本構想・基本計画の策定

などの実施により、地場産業の育成・支援や企業立地等を推進し、地域経済を活性化していくとともに、新たな雇用の創出や力強い地域産業の構築に取り組みます。

4 つ目は、「誰もが安心できる暮らしやすいまちづくり」です。

産業振興と交流を支える都市基盤の整備や、医療・保健・福祉等の市民生活に直結する分野の強化・充実を図るため、

○都市基盤の整備については、

- ・上田崎線や飯隈樋渡線（橋梁）などの主要幹線道路や足元道路、橋梁の補修、排水路等の整備・充実
- ・王子雨水幹線整備などの雨水排水対策
- ・市営住宅への火災報知器の設置や、新町市営住宅等の建替や、老朽化した市営住宅の改修
- ・輝北ダム移転記念公園の整備のほか、都市公園等の施設の改修
- ・地上デジタル放送難受信対策事業など情報通信基盤の整備
- 医療・保健・福祉の分野については、
- ・夜間当番医制存続の危機に対応するため、夜間急病センター（仮称）の開設に向けた取組
- ・子育て家庭の医療費負担

軽減策として、小学校就学前の医療費や小学校卒業までの入院費の全額無料化

- ・国民健康保険税の賦課の適正化や、特定健診等の健康づくり事業の推進など、将来にわたり市民が安心して医療を受けられる環境づくり
- ・小規模施設入所者の安全を確保するため、グループホーム等へのスプリンクラー設置補助
- 防災・消防対策については、
- ・移動系防災無線の整備
- ・急傾斜地崩壊危険箇所等の土砂災害の未然防止対策
- ・老朽化している消防自動車や消防団資機材等の更新
- などを実施し、都市基盤の確立や生涯にわたる健康づくりの推進、防災・防犯・交通安全等の充実・強化による、市民の安全で安心な暮らしの確保に努めます。

5 つ目は、「自然と環境を大切にふるさとづくり」です。



▲自然や水の大切さを再認識してもらおうと行われる申良川源流体験

○地球温暖化対策や肝属川の水質浄化を図り、美しい山・川・海・水を次代に引き継ぐため、

- ・二酸化炭素排出量を抑制する太陽光発電システム等の購入に対する補助
- ・生活排水による河川の水質汚濁を防止するための小型合併浄化槽設置補助など、自然・環境保全対策を推進します。
- 自然と共存する環境にやさしい産業構造への転換を図るため、
- ・環境負荷の低減に配慮した農業の推進
- ・養豚農場等での悪臭低減技術の実証試験

○子どもたちが安全で安心して学べる教育環境を整備・充実し、地域の次代を担う人材を育成するため、

6 つ目は、「未来の郷土を担う人づくり」です。

- ・資源循環型農業の推進を図るための新たな糞尿処理方式の検討
- などを実施し、環境負荷の少ない循環型社会の実現に向けて、市民や企業、団体等が現状を認識し、地域が一体となった取組を進めます。
- 商店街活性化に向けた取組として、
- ・空き店舗の改装費、広告宣伝費等の助成
- ・商店街活性化計画の策定の支援
- 「地域ブランド」の確立に向けた取組として、
- ・鹿屋体育大学の専門知識や施設を活用したスポーツ合宿等の誘致
- ・県や関係団体と一体となった企業誘致のための訪問活動
- 商店街活性化に向けた取組として、
- ・空き店舗の改装費、広告宣伝費等の助成
- ・商店街活性化計画の策定の支援
- 「地域ブランド」の確立に向けた取組として、
- ・鹿屋体育大学の専門知識や施設を活用したスポーツ合宿等の誘致
- ・県や関係団体と一体となった企業誘致のための訪問活動

○このほか、

- ・国際社会に対応でき、郷土を誇れる国際性豊かな

所づくりをするための職員意識改革

などにより、中長期の健全財政の堅持に努めます。

3 つ目は、「地域を元気にする産業づくり」です。

地域の資源や特性を生かした産業振興と、交流促進による地域経済の活性化と競争力の向上を図り、足腰の強い産業構造を構築するため、

○農業においては、

- ・ピーマン・スプレーギク等の降灰対策のためのハウス施設の整備
- ・茶やブロッコリー等の畑作物の機械化、省力化施設の整備による経営安定化の推進
- ・K-GAP（かごしまの農林水産物認証制度）の推進等による安全・安心を確保した環境保全型農業の推進
- ・地産地消を推進するため、学校給食における地場産農林水産物の活用
- 畜産においては、日本一の畜産団地を目指して、
- ・肉用牛・中小家畜生産の中核となる担い手を確保



▲学校給食の食材として使用されるかのやカンパチ



▲スプレーギクの降灰対策のためのハウス施設

するための生産性の効率化

- ・良質粗飼料の年間を通じた安定確保を図る飼料作物収穫調整用機械の整備
- ・畜産経営の安定に資する畜産飼料の自給力向上
- ・肉用牛の優良繁殖牛への更新促進
- ・畜産経営に起因する環境汚染の防止
- 林業においては、
- ・除間伐の低コスト化を図

するための作業道開設

- ・間伐材を利用した木材加工施設の整備
- ・木質チップを有効活用する湯遊ランドあいらのボイラー施設整備
- 水産業においては、かのやカンパチの生産体制の維持向上を図るため、
- ・経営改善に取り組んでいる養殖漁業者への餌購入の補助
- ・製氷・貯水施設の増設、国内・海外への販路開拓の支援
- ・HACCPシステムの維持、管理による食品安全性確保と付加価値向上への取組・支援
- などを実施し、農林水産業の担い手育成や生産体制の強化、環境にやさしい循環型農業の展開や、安全で安心な生産物の生産振興を図ります。
- さらには、地域の生産物を生かした、食品加工・製造業等の起業や立地など、第二次、第三次産業を振興する取組を進めるため、
- 農商工連携の取組として、
- ・豊富な農林水産物を活用



▲スポーツ合宿



▲かんぱちの水揚げ

し、高付加価値化に向けた実証等への支援

- ・第一次産業を基軸とした産業振興、地場中小企業を育成・強化するための起業家や市内企業への支援
- ・「地場産品」等の振興や内発型産業の育成のための新製品や需要開拓への支援
- 産学官連携による産業振興等の取組や企業誘致については、
- ・鹿屋体育大学の専門知識や施設を活用したスポーツ合宿等の誘致
- ・県や関係団体と一体となった企業誘致のための訪問活動
- 商店街活性化に向けた取組として、
- ・空き店舗の改装費、広告宣伝費等の助成
- ・商店街活性化計画の策定の支援
- 「地域ブランド」の確立に向けた取組として、
- ・鹿屋体育大学の専門知識や施設を活用したスポーツ合宿等の誘致
- ・県や関係団体と一体となった企業誘致のための訪問活動



▲空き店舗を活用した「かのやまち一番館」



▲空き店舗を活用した「かのやまち一番館」

・鹿屋体育大学の専門知識や施設を活用したスポーツ合宿等の誘致

- ・県や関係団体と一体となった企業誘致のための訪問活動
- 商店街活性化に向けた取組として、
- ・空き店舗の改装費、広告宣伝費等の助成
- ・商店街活性化計画の策定の支援
- 「地域ブランド」の確立に向けた取組として、
- ・鹿屋体育大学の専門知識や施設を活用したスポーツ合宿等の誘致
- ・県や関係団体と一体となった企業誘致のための訪問活動